HIKVISION

DS-K3BC430LXシリーズ
スイングゲート

クイックスタートガイド

UD32648B-A

©2023杭州海康威視数字技術有限公司。無断複写・転載を禁じます。

このマニュアルについて

本マニュアルには、製品の使用方法および管理方法に関する説明が含まれています。以下に掲載されている図、表、画像およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。本マニュアルに記載されている情報は、ファームウェアの更新その他の理由により、予告なく変更される場合があります。最新バージョンのマニュアルは、Hikvisionウェブサイト（https://www.hikvision.com/）でご確認ください。
本マニュアルには、本製品のサポートに関する詳細を受けた専門家の指導と支援のもとでご使用ください。

商標

HIKVISION およびその他のHikvisionの商標およびロゴは、様々な管轄区域においてHikvisionの所有物です。
記載されているその他の商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。

免責事項

適用される法律で許容される最大限の範囲において、本マニュアルおよび記載された製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）に関しては、「現状有姿のまま」かつ「あらゆる欠陥とともに」で提供されます。HIKVISIONは、商品性、満足の品質、特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証を行いません。本製品の使用は自己責任で行ってください。インターネットへの接続に関しては、HIKVISIONは、特別損害、結果的損害、付随的損害、間接損害（事業利益の損失、事業中断、データ損失、システムの破壊、または文書の損失を含むがこれらに限定されない）に関して、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任その他のいかなる法的理論に基づくものであっても、本製品の使用に関連して生じた場合であっても、HIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について事前に通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。
お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティおよびプライバシー関連リスクに起因する異常動作、プライバシー漏洩、その他の損害について、HIKVISIONは一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じてHIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。 ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティおよびプライバシーに起因する異常動作、プライバシー漏洩、その他の損害について一切の責任を負わないことを認めるものとします。ただし、必要に応じてHIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。
お客様は、本製品を適用されるすべての法令に準拠して使用することに同意し、お客様の使用が適用される法令に準拠していることを確認する責任はお客様のみにあります。 特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用することについて責任を負います。お客様は、化学兵器、核爆発装置の開発または製造、石油ガス等または原子力発電所の開発または製造、 弾道失作または安全でない核物質サイクルに関するいかなる活動、または人権侵害を支援する活動を含むがこれらに限定されない。
本マニュアルと適用される法律との間に矛盾がある場合、後者が優先する。
データ保護
デバイス使用中、個人データが収集、保存、処理されます。データ保護のため、Hikvisionデバイスの開発にはプライバシー・バイ・デザイン原則が組み込まれています。例えば、顔認識機能付きデバイスでは、生体認証データは端末化方式でデバイス内に保存されます。指紋認証デバイスでは、指紋テンプレートのみが保存され、指紋画像を保機能することは不可能です。
データ管理者として、適用されるデータ保護および収集に従い、データの収集、保管、処理、転送を行うことが推奨されます。これには、個人データを保護するためのセキュリティ対策の実施（合理的な管理上および物理的なセキュリティ対策の導入を含むがこれに限定されない）ならびにセキュリティ対策の有効性に関する定期的な見直しおよび評価の実施が含まれます。

クイックスタートフローチ

1 システム配線
1.1 配線図を作成する。
1.2 穴を掘る。
1.3 ケーブルを埋設する。

2 設置
2.1 設置方向を決定する。
2.2 装置を固定する。

3 配線
3.1 部品および出場出荷時の配線を確認してください。
3.2 オプションの付属品を配線する。

4 配線図
部品および相互接続ケーブルの配線を確認する。

5 ボタン説明
5.1 表示画面を確認する。
5.2 ボタンで設定します。

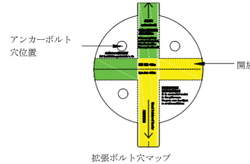
6 クイックスタート
6.1 デバイスの起動
6.2 Web またはクライアントソフトウェアで設定します。

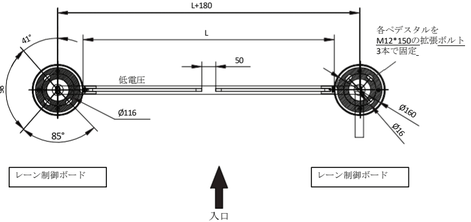
シングルレーンモード：デフォルトでは、本装置は単一のメインレーン装置として動作します。

ダブルレーンモード：レベル 1 ボタン構成番号を 51、レベル 2 番号を 1 に設定すると、デバイスはダブルレーンモードに切り替わります。

レベル 1 ボタン構成番号を 50、レベル 2 番号を 2 に調整すると、台座はサブレーンデバイスに切り替わります。

1 システム配線





単位：mm

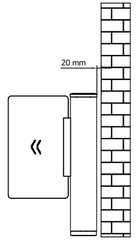
手順:
1. 右側または右側の台座の設置面に中心線を引きます。
2. 他の台座を設置するための平行線を引きます。
最も近い 2 本の線間の距離は L+180 mm です。
L は車線幅を表します。
3. パッケージ内の拡張ボルト穴マップを確認してください。黄色の開放エリアに合わせて設置面に穴を掘ります。拡張ボルト穴の位置に合わせて設置穴を掘り、各台座に M12*150 の拡張ボルトを 3 本挿入します。
4. 低電圧ケーブルを埋設する。
5. 24V電源ケーブルと相互接続ネットワークケーブルを埋設してください。詳細はシステム配線図を参照してください。

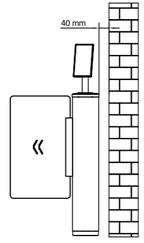
- 低電圧：
相互接続ケーブル（2基のペデスタルと上記）：推奨長さはL+1.5 mです。
ネットワーク通信ケーブル：CAT5e またはそれ以上の性能のネットワークケーブルの使用を推奨します。
- 推奨される低電圧用導管の外径は30mmです。
接続する周辺機器が増える場合は、導管の直径を大きくするか、外部ケーブル用に別の導管を埋設してください。
- 穴を掘る前に、設置面の厚さを評価し、貫通を避けること。
- 設置面に溝を切る際は、位置と幅に注意し、バリアの位置ずれを避けてください。
- 1台のHikvision配電キャビネットは1基のペデスタルを供給します。
- 電源ケーブルの最大許容直径は12AWG（UL1015）で、伝送距離は100mです。1台のHikvision配電キャビネットは2台のペデスタルに供給します。
- 電源ケーブルの最大許容直径は 16 AWG (UL1015)、伝送距離は 25 m です。

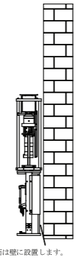
2 設置

- 装置は平らな場所に設置してください。
- 設置時およびその他の操作中は、必ず装置の電源を切ってください。
- 設置工具は台座のパッケージ内に収納されています。
- 施工中の汚れによるステンレスの錆を防ぐため、設置完了後に保護フィルムを剥がすことを推奨します。
フィルムの切り取り位置に接着剤の残留がある場合があります。フィルムを剥がした後、WD-40保護液で拭き取ることを推奨します。
- スリーブの取り付けには、少なくとも2名での作業をお勧めします。作業中は手袋を着用し、慎重に取り扱い、挟み込みや圧迫によるけがに十分注意してください。

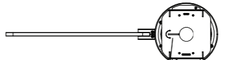
手順：
1. 取り付け工具を準備し、部品を確認し、設置基盤を清掃する。
2. 台座底部を防水材で密封し、水漏りを防止する。
3. 装置上部の保護パネルを取り外し、デフォルトのバリア開口方向マークに従ってバリアの方向と台座の設置位置を決定します。ナットで台座を固定し、配線を完了してください。
4. 回転チューブと上部プラスチック部品を ネジで取り付けます。







この面は壁に設置します。



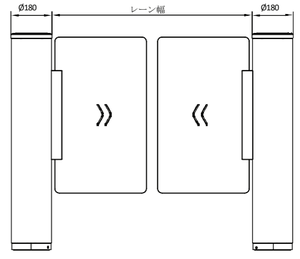
デフォルトのバリア開口部方向マーク

設置場所が壁に近い場合は、
台座と壁の間の距離は20mm以上（敷設品質不付きの場合は40mm以上）であると必要があります。そうしないと、装置の動作や台座の上部パネルが開かなくなる可能性があります。

寸法

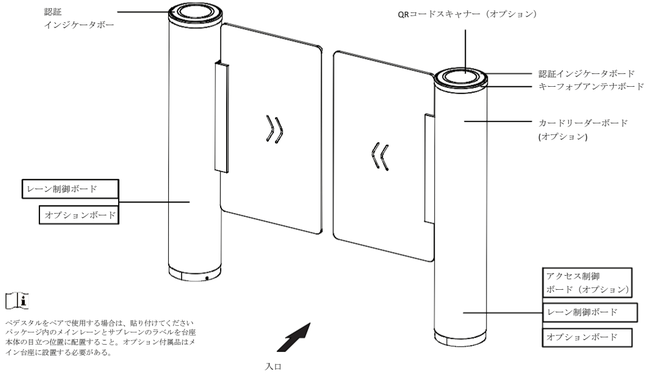
QRコードをスキャンして動画ガイドをご覧ください。

QRコードをスキャンして取扱説明書をご覧ください。



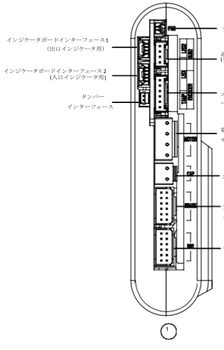
単位：mm

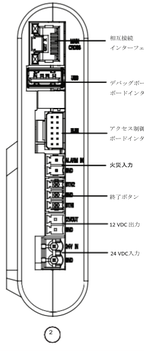
3 配線



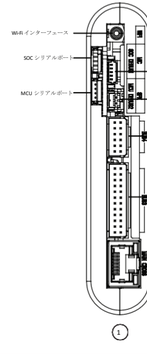
ペデスタルをペアで使用する場合は、貼り付けください
パッケージ内のメインレーンとサブレーンのラベルを台座本体の目立つ位置に配置すること。オプション付属品はメイン台座に設置する必要がある。

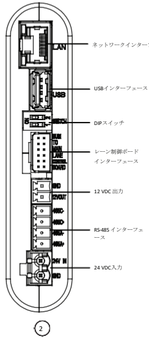
レーン制御ボード



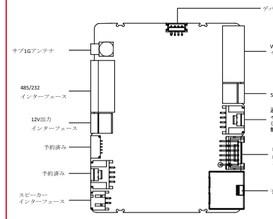


アクセス制御ボード（オプション）



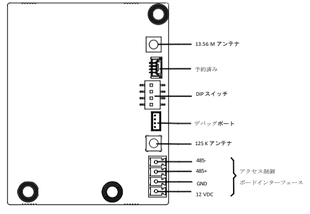


- デバッグポートボードのUSBインターフェースとレーンコントロールボードはデフォルトで接続されており、デバッグポートはレーンコントロールボードの内蔵デバッグポートケーブルに接続されています。アクセスコントロールボードを選択した場合、デバッグポートボードはアクセスコントロールボードのデバッグポートケーブルに接続する必要があります。
- SOCおよびMCUシリアルポートはデバッグおよび保守専用です。
- リセットボタンを5秒間押し続けると、デバイスが3秒間ビープ音を鳴らし、工場出荷時の設定に復元を開始します。
- RS-485A は Web 上のポート 5 に対応し、デフォルトでは入口の QR コードスキャナー接続用です。RS-485C は Web 上のポート 7 に対応し、デフォルトでは入口のカードリーダー接続用です。



オプションボード

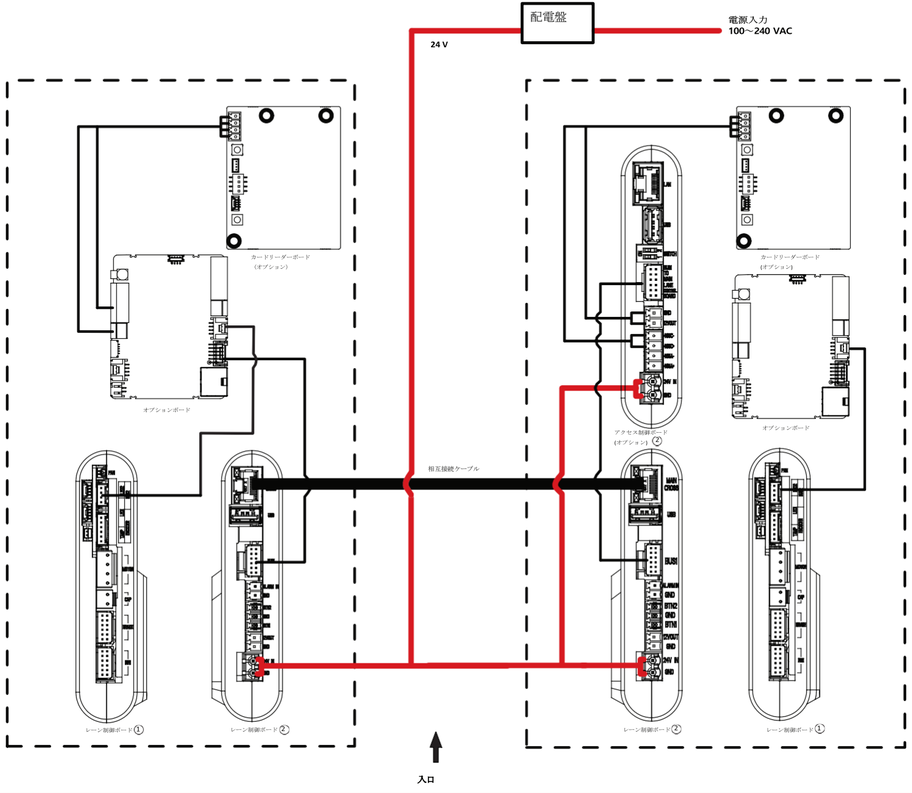
- RS-485A は Web 上のポート 6 に対応し、QR コードスキャナ用です デフォルトでは出口の接続用です。RS-485C は Web 上のポート 4 に対応し、デフォルトでは出口のカードリーダー接続用です。RS-232B は Web 上のポート 2 に対応します。
- メインおよびサブ/デスタル内のカードリーダーボードは、1 本のアダプタケーブルを共有しています。このケーブルをサブレーンで使用する場合は、アクセス制御ボードの端子を抜き、サブ/デスタルのオプションボードに差し込んでください。



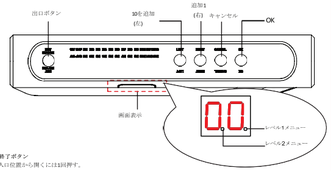
カードリーダーボード（オプション）

4 配線図

- AC電源を24Vに変換するには、Hikvision対応分配キャビネット（別売）の使用を推奨します。
- 電源：24 V DC；電源電圧変動範囲：±5%。
- ①と②は同一基板の両面を指します。
- 入口/出口でバリアが開く場合：BTN1/BTN2 および GND に接続してください。
- 付属の接続ケーブルは現場で接続が必要です：CAT5e通信ケーブル。ケーブルの長さは3mで、パッケージ内に収納されています。



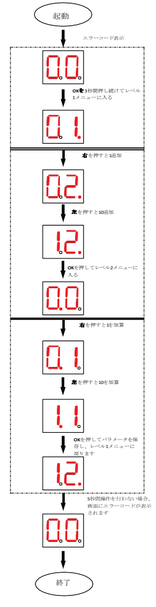
5 ボタン説明



終了ボタン
入口位置から開くには1回押す。
出口位置から開くには2回押す。

パラメータ設定ボタン
設定データ：設定データは2つのデジタルチューブで表示されます。
左：このボタンを押すと設定データに10を加算します。
右：設定データを1つ追加します。
キャンセル：レベル1メニューに戻る。またはレベル1メニューから設定を終了します。
OK：データを確認する。設定モードに入る。サブメニューに入る。
レベル1メニュー：右側の小数点が点灯している場合、レベル1メニューであることを示します。数字は設定項目番号を表します。
レベル2メニュー：中央の小数点が点灯している場合、レベル2メニューを示します。数字は設定項目のパラメータを表します。

手順



設定モードに入る。
画面右側に数字の1が表示され、デバイスは設定の準備が整います。

左/右キーで設定番号を選択
設定番号を設定します。OKを押してレベル2メニューに入り、パラメータを表示します。キャンセルを押すか、5秒間操作をおわないと設定がキャンセルされます。

左/右ボタンで設定
必要に応じてパラメータを設定してください。変更を保存するにはOKを押すか、変更を保存せずに設定番号設定に戻るにはCANCELを押してください。5秒間操作をすわないと設定がキャンセルされます。

- オプションボードが未装着の場合、エラーコード「59」が表示されますが、装置は正常に動作します。
- ボタン説明の詳細については、ユーザーマニュアルを参照してください。

6 クイックスタート

アクティベーション

- デバイスのデフォルト IP アドレス (192.0.0.64) を入力し、新しいパスワード (管理者パスワード) を作成してデバイスをアクティベートします。
- クライアントソフトウェアを介してデバイスをアクティベートします。

- アクセス制御ボードはオプションです。アクセス制御ボードを選択した場合にのみ有効化が必要です。
- 製品のセキュリティ強化のために、ご自身で設定した強力なパスワード（大文字、小文字、数字、特殊文字を含む8文字以上）の使用を強く推奨します。admin および hmdaを含む文字はサポートされません。

PC Web基由の設定

デバイスがアクティベートされていることを確認してください。ウェブブラウザのアドレスバーにデバイスのIPアドレスを入力し、Enterキーを押してログインページにアクセスします。
デバイスのユーザー名とパスワードを入力します。ログインをクリックします。

クライアントソフトウェアによる設定

クライアントソフトウェアをダウンロード後、デバイス管理、グループ管理、ユーザー管理、アクセス制御管理を実施できます。

規制情報

本製品および付属品（該当する場合）は「CE」マークが付与されており、したがって、電気機器指令 2014/53/EU、電磁両立性指令 2014/30/EU、RoHS 指令 2011/65/EU に記載された適用される欧州統一規格に準拠しています。

2006/66/EC（電池指令）：本製品には電池が含まれており、欧州連合では一般廃棄物として処理できません。詳細は電池情報は製品文書をご参照ください。電池には CE の記号が表示されており、カドミウム（Cd）、鉛（Pb）、水銀（Hg）を含むことを示す文字が記載されている場合があります。適切なリサイクルのため、電池は販売店または指定回収拠点へ返却してください。詳細は以下を参照：www.recyclethis.info

2012/19/EU（WEEE指令）：この記号が付いた製品は欧州連合では一般廃棄物として分別せずに廃棄することはできません。適切なリサイクルのため、同等の新品機器購入時に本品を販売店へ返却するか、指定回収場所で処分してください。詳細は以下を参照：www.recyclethis.info

安全に関する指示

警告

- 本製品の使用にあたっては、厳格な遵守が必須です 当該国および地域の電気安全規制に準拠すること。
- コンセントは機器の近くに設置し、容易にアクセスできるものとする。
- 接続された建物の電気設備には、容易に操作可能な遮断装置を組み込むこと。
- 建物の電気設備には全極主電源スイッチを組み込むこと。
- 1. 本機器は、子供がいる可能性のある場所での使用には適して いません。
  2. 注意：誤ったタイプの電池と交換すると爆発の危険があります。
  3. 誤った種類の電池への不適切な交換は、安全装置を無効にする可能性があります（例：一部のリチウム電池タイプの場合）。
  4. 電池を火中や高温のオーブンに廃棄したり、機械的に押しつぶしたり切断したりしないでください。爆発の原因となる可能性があります。
  5. バッテリーを極端に高温の環境に放置しないでください。爆発や可燃性液体・ガスの漏出を引き起こす可能性があります。
  6. バッテリーを極端に低い気圧にさらさないでください。爆発や可燃性液体・ガスの漏液を引き起こす恐れがあります。
  7. 使用済み電池は指示に従って廃棄してください。
- 身体の一部をモーターから離してください。メンテナンス中は電源を切断してください。
- 聴覚障害を防ぐため、長時間大音量で聴かないでください。

注意

- 本機を落下させたり物理的衝撃を与えたりせず、高電磁波放射環境に曝さないでください。振動する表面や衝撃を受ける可能性のある場所への設置は避けてください（無視すると機器損傷の原因となります）。
- 本機器を極端な高温（詳細な動作温度については機器の仕様を参照）、低温、粉塵、湿気の多い場所に置かないでください。また、強い電磁放射にさらさないでください。
- 機器を直射日光、換気の悪い場所、またはヒーターやラジエーターなどの熱源にさらすことは禁止されています（無知は火災の危険を引き起こす可能性があります）。屋内用の機器カバーは雨や湿気から保護してください。
- 装置カバーの内外表面を清掃する際は、柔らかく乾いた布を使用し、アルカリ性洗剤は使用しないでください。
- 生体認証製品は、完全な偽装防止環境には適用されません。より高いセキュリティレベルが必要な場合は、複数の認証モードを使用してください。
- 点灯したろうそくなどの裸火を機器の上に置かないでください。
- 本装置のUSBポートは、マウス、キーボード、またはUSBフラッシュドライブの接続専用です。
- 本装置のシリアルポートはデバッグ専用です。
- 点灯したろうそくなどの裸火源を本機器の上に置かないでください。
- 本装置はコンクリートまたはその他の不燃性表面への設置にのみ適しています。
- 1. 本機器は、本マニュアルの指示に従って設置してください。
  2. 怪我を防ぐため、設置説明書に従って本機器を床/壁に確実に固定してください。
- 本装置を移動または使用する際は、装置を垂直に下向きにしてください。
- このブラケットは、付属の機器のみに使用してください。他の機器に使用すると、不安定になり、怪我の原因となる場合があります。
- 本機器は付属のブラケットとのみご使用ください。他の（台車、スタンド、運搬台など）との併用は不安定となり、負傷の原因となる可能性があります。